

## 全国の花火業者が有志で開催 「悪疫退散の願いを込めて」 6月1日 全国200カ所で 花火を打ち上げた！ 『Cheer up！花火』プロジェクト 花火のチカラで全国を元気に

玩具花火、煙火、玩具、雑貨、菓子の企画・製造・販売する株式会社若松屋（本社：愛知県西尾市、代表取締役：佐野泰隆）は、全国一斉に花火を打ち上げるプロジェクト『Cheer up！花火』（チアアップはなび）に参加し、2020年6月1日（月）20：00に全国約200カ所で実施した打ち上げ花火の1つとなる愛知県知多郡南知多町篠島での花火打ち上げを担当しました。

当日は、人が集まって「密」にならないように、事前の告知は控え、花火業界と打ち上げに協力いただいた関係者のみで準備を行いました。

『Cheer up！花火』は、全国の花火業者が有志で立ち上げたプロジェクトです。今年は新型コロナウイルスの感染拡大をうけて、多くの花火大会の中止が決定していますが、一方で、大会としては人が集まらないようにした悪疫退散を祈願する花火を打ち上げる取り組みが各地で行われています。「この取り組みを一人でも多くの方へ届けたい」と、花火業者有志が思案した結果、「全国一斉に花火を打ち上げよう！」というプロジェクトが立ち上がりました。全国の花火業者が協力し、悪疫退散を祈願するとともに世界中の人たちに希望と元気を届ける目的として行いました。



### ～悪疫退散と花火～

日本の花火には鎮魂の意味を持つ歴史・文化があります。歴史的記録の残るものとして両国の花火が最古となっています。江戸時代享保18年幕府（8代将軍吉宗）は、大飢饉と疫病流行による犠牲となった人々の慰霊と悪疫退散を祈り、水神祭を行いました。この時に花火を打ち上げた事が「両国の川開き（現在の隅田川花火大会）」の由来とされています。

例年は手持ち花火の店頭販売は4月から始まり、6月に入って販売個数が増える傾向にあります。しかし今年は新型コロナウイルス感染拡大の影響で外出自粛を続ける中、「家族みんなで楽しむアイテム」として1カ月早い5月の購入が増加しています。特に手持ち花火、煙が少ない花火など、自宅で楽しみやすいものに人気があり、比較的低価格の商品の販売数が多くなっています。今年は自宅でも花火を楽しむと同時に「悪疫退散」の願いを込めてほしいと考えています。

## 【若松屋について】

当社の主力商品である「花火」は、多くの人に感動と喜びを提供できる商品であり、「玩具」は子どもたちの豊かな感性を育む商品と考えています。

今後も昭和 12 年の創業からの信念である「お客様第一」に基づき、「花火」「玩具」などの商品を通じて社会貢献をすることを目指していきます。

## 【会社概要】

会社名： 株式会社若松屋  
代表： 代表取締役 佐野 泰隆  
本社： 愛知県西尾市下羽角町岩谷 56-1  
東京支店： 東京都台東区柳橋 1-5-6  
本社電話： 0563-52-1331  
ホームページ： <http://www.wakamatsuya.tv/>  
設立： 昭和 39 年（創業昭和 12 年）  
資本金： 3000 万円  
年商： 35 億円  
従業員数： 55 名  
事業内容： 玩具花火、煙火、玩具、雑貨、菓子の企画、製造、卸売

<報道関係者お問い合わせ先>

若松屋 広報事務局

担当：柴山（070-1389-0172）メール：pr@netamoto.co.jp

TEL：03-5411-0066 FAX：03-3401-7788